

Press Release

2007 年 9 月 25 日

簡単便利な 3 つの新機能を MAPPSⅢおよび MORI-AP へ搭載

NC プログラム作成時間を大幅に短縮

森精機製作所は、アメリカカリフォルニア州サクラメントを拠点とする DTL (Digital Technology Laboratory Corporation)と共同で **MAPPSⅢおよび MORI-AP** に搭載できる **3 つの新機能(①MORI-POST アドバンスモード ②領域定義機能③DXF インポート機能)**を開発しました。MAPPSⅢにはオプションとして選択でき、MORI-AP には標準で搭載されます。

①MORI-POST アドバンスモード

ポストプロセッサとは、CAM で生成された CL(工具位置:Cutter Location)データを、実際に工作機械を動かす NC プログラムへ変換して出力するソフトウェアです。ポストプロセッサ内には、NC データ生成のシステムだけではなく工具交換後すぐに切削油を吐出する等の動作タイミングや軸速度、位置動作指令を定義するためのテンプレートが存在します。

本機能はこのテンプレートをお客様ご自身でカスタマイズできる機能であり、加工時間短縮のためのお客様のご要望に沿った細かな NC プログラムの作成が容易になります。

2007 年 11 月 1 日出荷機より対応可能となります。

②領域定義機能

従来、旋盤加工では 1 工程は 1 つの切削方向にて加工します。そのため複数の切削方向にて加工したい場合には工程を分割し、工程毎に加工形状を定義する必要がありました。

本機能では、1 工程内に複数の加工領域を定義することが可能になり、それぞれに切削方向を指定できます。工程分割や加工領域の定義にかかる手間を省くとともに、無駄のない加工経路を出力します。

2007 年 10 月 1 日出荷機より対応可能となります。

③DXF インポート機能

DXF インポート機能とは、DXF(Drawing eXchange File: CAD ソフトウェアで作成した図面のファイルのフォーマット)形式の形状データを座標として取り込み、対話データへ入力する機能です。

本機能では画面を数クリックするだけで正確かつ迅速に対話データへの形状データの入力を完了し、加工シミュレーションや実加工をすることが可能です。図形の各点を入力する必要も無くなり、デジタルデータを活用し、作業時間の大幅な短縮が可能となります。

2007 年 10 月 1 日出荷機より対応可能となります。

森精機製作所ではより使い易いソフトウェアを提供し続けることで、理想の生産現場の実現に貢献してまいります。

■MAPPSⅢについて

弊社の機械に搭載されている高性能オペレーティングシステムです。処理能力の向上や対話機能、工具管理機能などにより、プログラム作成時間や段取り時間の削減を実現します。

■MORI-AP について

パソコン上で加工プログラムを作成できるアプリケーションシステムです。MAPPSⅢと同様、対話機能などを搭載しており、さらに MAPPSⅢと機能面、データ面、操作性で完全互換を実現しており、プログラムの一元管理を可能としています。



DXF インポート機能による形状データ取り込み例